

令和5年11月実施

事業所名 たいむ

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない 無回答	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	61.5%	23.1%	0.0%	15.4%	
	2	職員の配置数は適切であるか	84.6%	7.7%	0.0%	7.7%	・時間帯によっては人員配置が足りないこともあり、他部署からの応援に支えられている
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	92.3%	7.7%	0.0%	0.0%	
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	53.9%	23.1%	7.7%	15.3%	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	76.9%	7.7%	0.0%	15.4%	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	53.9%	0.0%	0.0%	46.1%	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	38.5%	0.0%	15.4%	46.1%	
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	61.5%	23.1%	0.0%	15.4%	・研修の効果が分かるような取組ができればよい ・研修の他にミーティング時に専門職からのアドバイスや情報共有を行い質の向上に努めている
適切な 支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	84.6%	7.7%	0.0%	7.7%	・年に1回保護者にアンケートを実施し、ニーズや利用児の好み、行動特性等の把握に努めている
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	38.5%	30.8%	0.0%	30.7%	・アセスメント項目が適切であるか確認が必要
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	84.6%	0.0%	0.0%	15.4%	・職員間で話し合い、利用児個々やライフステージに合わせた活動について立案・実施・評価を行っている
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	69.2%	15.4%	0.0%	15.4%	・活動の担当をローテーションさせることでバリエーションある活動を提供している
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	69.2%	23.1%	0.0%	7.7%	・長期休暇中は利用児が楽しめるよう様々な設定を行っている ・平日は季節を感じる制作活動を個々が取り組めるよう工夫している

適切な支援の提供	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、放課後等デイサービス計画を作成しているか	84.6%	15.4%	0.0%	0.0%	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	84.6%	7.7%	0.0%	7.7%	・朝礼時やミーティング、連絡ノートにて情報共有や連携に努めている
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	46.2%	30.8%	7.7%	15.3%	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	84.6%	15.4%	0.0%	0.0%	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	61.5%	7.7%	0.0%	30.8%	・6か月に1回必ず行っている
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ、支援を行っているか	46.2%	7.6%	0.0%	46.2%	
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	76.9%	0.0%	0.0%	23.1%	・開催回数や参加依頼は少ないが参画している
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	84.6%	7.7%	0.0%	7.7%	・送迎時に適宜行っている ・場合によっては電話連絡することもある
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	84.6%	0.0%	0.0%	15.4%	・保護者を通じて行っている ・年に1度主治医による医療指示書にて確認している
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	57.1%	0.0%	7.1%	35.8%	・同センター（和こう）との情報共有はできている
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	46.2%	0.0%	7.6%	46.2%	・必要時、情報提供できるよう資料等は常に準備している
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	46.2%	7.7%	15.4%	30.7%	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	0.0%	30.8%	38.4%	30.8%	・コロナ禍以降もなかなか行う機会がないのが現状

関係機関や保護者との連携	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	46.2%	0.0%	7.6%	46.2%	・担当職員が参加し、センター職員に情報を資料を通して周知している
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	84.6%	15.4%	0.0%	0.0%	・送迎時や連絡帳、時には電話連絡を行っている
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	0.0%	15.4%	15.4%	69.2%	
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	76.9%	0.0%	0.0%	23.1%	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	84.6%	7.7%	0.0%	7.7%	・6か月に1回行っている面談時や必要に応じてその都度行っている
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	0.0%	15.4%	15.4%	69.2%	
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	84.6%	0.0%	0.0%	15.4%	・今年度苦情はないが、課題がある時には迅速に対応するよう心掛け行動している
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	84.6%	7.7%	0.0%	7.7%	・楽しみにしているとの子ども達の声の励みに毎月発行している
	35	個人情報に十分注意しているか	92.3%	7.7%	0.0%	0.0%	・職員間の日々の会話の中でも十分注意している
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	92.3%	0.0%	0.0%	7.7%	・日頃からのコミュニケーションを大切にしている
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	15.4%	7.7%	15.4%	61.5%	・市の職員や学生ボランティアを受け入れ交流を行っている
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	46.2%	7.7%	15.4%	30.7%	・十分ではない
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	76.9%	15.4%	0.0%	7.7%	・今年度はシェイクアウト訓練や火災時の避難に向けての点呼や行動確認を行った
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	・日々子ども達と向き合う中で、声かけ一つを意識し関わるよう努めている

非常時等の対応	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	76.9%	7.7%	0.0%	15.4%	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づき対応がされているか	69.2%	7.7%	0.0%	23.1%	・保護者を通して主治医からの指示書を確認し対応している
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	84.6%	7.7%	7.7%	0.0%	・ヒヤリハットがあった際にスタッフ間で情報共有及び対策検討している ・ファイリングし保管している

アンケート配布人数 13人 回収人数 13人 回収率100%

《 今年度の振り返りと評価 》

①利用者個々の特性やライフステージに合わせた活動を企画実施していきます

個々の特性やライフステージ合わせた活動は様々な案やアイデアは出ていますが、実際にプログラム化し実施する所までには至っていません。今後も個別のニーズ把握やライフステージに特化した取り組みを検討し、実施に向け進めていきます。

②職員間の連携の強化と支援の質の向上を目指します

様々な職種（専門職）で構成されている強みを活かして、職員間で勉強会を実施し、介助方法や発達支援に向けた取り組み等の情報共有を行いました。しかし、頻度的には少ないため、今後も積極的に勉強会や情報共有を継続し質の向上に繋げていきたいと考えます。またその知識や情報等を全職員に周知する手段や方法等の模索も重要課題と捉えます。

③災害時に備え必要物品の準備や避難訓練実施に向け進めていきます

利用者と共にシェイクアウト訓練を実施しました。また防災新聞を発行することで情報周知の向上が見られました。今後も様々な災害に備え訓練を実施していくことや必要物品の備えも進めていく必要があると考えます。

《 今後に向けての改善目標 》

①利用者個々の特性やライフステージに合わせた活動を企画実施していきます（継続）

専門的視点を活かし利用者個々の特性に合わせた活動を実施していきます。学年や年齢相応に取り組める活動を企画実施していきます。

②職員間の情報共有をしっかりと行いチーム支援の強化を図っていきます

利用者の特性やニーズ、業務内容等、正規・非正規職員問わず情報を共有できる手段や方法を模索し、協力し合いながらチーム支援の強化を図っていきます。

③災害時に備え必要物品の準備や避難訓練の充実に努めていきます

災害避難時に備え必要物品の確認や準備を進めます。また様々な災害を想定し訓練を実施していけるよう準備を進めます。